

# Q. 防災担当副町長のビジョンや政策は

## A. 精力的に具体的な対策を検討する



村井 慶太郎 議員



こんな看板で誘導してね



**問** 国や県から災害に関する新規のデータが発表され、中矢副町長には防災担当として、本町のため、安全で安心なまちづくりの努力を願いたい。

① 今後のビジョンや政策の考えは。

② 海拔表示、指定避難場所への誘導表示など町民にわかりやすく表示を。

**答** 防災担当副町長

① 近い将来発生すると言われている東南海・南海地震に備え、役場の組織を挙げて、また町民総参加で松前町に合った防災対策を、着実に実施していく。

また、精力的に検討を行い具体的な対策につなげていきたいと考えている。

② 町には9か所の指定避難場所があり標高表示もしているが、まだ課題も多いので、いろんな意見を頂きあるべき方向性を見出しにくく考えだ。

**問** 学校施設の太陽光エネルギー対策は

子供の節電に対する知識や意識のためにも、小・中学校全6校、また将来、公共施設全体に太陽光発電システムを設置するべきだが考えは。

更に自然エネルギーへの利用については。

**答** 順次各学校に太陽光発電を設置する

教育長

小・中学校の校舎、体育館の耐震化工事にあわせて、代替エネルギーとして、子供たちの自然エネルギーに対する意識の高揚を図るため、各校区に1校太陽光発電システムの設置を進めている。

今後も電力の動向が不透明なことを考慮すると、我々自治体が率先して自然エネルギーの利用に取り組むことが必要だと考えている。

耐震工事に引き続き、順次各学校に太陽光発電を設置していきたいと考えている。

**問** 観光や作兵衛顕彰館に対する考えは

本町は義農の里と言われて、西は美しい瀬戸の海に抱かれ、すぐれた文化が栄え、現存する歴史的文化財は、私たち町民の大きな誇りであり、心よりどこころでもある。

この歴史、伝統、文化の町に生きる私たちが後世へ継続していくことは、私たち町民の責務だと思ふ。

今後の観光や義農作兵衛顕彰館に対する考えは。

**答** 町民の皆さんと一緒に検討する

産業課長

平成27年度に合併60周年を迎えるので、はんぎり競漕の全国大会や、はんぎりサミットを開催し、全国に松前町を発信していきたいと考えている。

作兵衛翁の遺徳を後世に伝えるための顕彰館建設を含めて、町外から大勢の方が来ていただける方を町民と一緒に検討していく。

**問** 地域密着型サービス事業者の決定方法を公開するか否か

6月からホームページでの周知が始まり、7月から公募が開始され、決定は9月ごろと聞いていますが、今回地域密着型サービス事業者の決定方法を公開するか否か、方向性は。

**答** 委員会での協議を行った上で方針が決定される

保健福祉部長

設置主体の適格性、施設の運営方針や整備方針などについて総合的に審査した上で、松前町が選考委員会の審議結果に基づき業者の決定を行う。

選考委員会の公開については委員会決定することになっており、ことから、委員会で協議を行った上で方針が決定される。